



じょうずに描けたね

保健福祉センターひだまりで5月2日、児童福祉週間事業の取り組みとして市内の就学前児童を対象に募集した「子育て応援キャラクター・ジュジュちゃん似顔絵」の授賞式を行いました。

応募作品60点の中から濱口ちさとちゃん（5歳・幸丘）、大岩てるみちゃん（4歳・鳥羽1丁目）、野村くおんくん（3歳・大明西町）の3人が描いた作品が選ばれ、賞状と記念品が贈られました。

また、授賞式にはジュジュちゃんも駆けつけ、子どもたちとの記念撮影を楽しんでいました。



子どもたちへ図書を

5月1日、市教育委員として12年間活躍された故・宮村公子さんのご子息である宮村光雄さんと宮村弘明さんが市長室を訪れ、小学校の図書購入費として役立ててほしいと40万円を寄付されました。

お二人は、「母は、ご近所のみなさんをはじめ鳥羽市に大変お世話になりました。ほんの気持ちですが小学校の図書購入費に充てていただきたい」と市長に手渡しました。市長からは「宮村先生は、ほんのりとしたやさしいかたで、本当にみなさんから好かれるすばらしい人でした。宮村先生もきっと喜ばれると思います」と感謝の気持ちを述べました。



潮騒をモチーフに

5月7日、三島由紀夫原作の映画「潮騒」をイメージした萩焼の作品「愛のあいさつ・初江と新治」が寄贈されました。

この作品は、神島町出身で陶芸家として活躍する小久保凌雲さんが潮騒公園の完成を記念して作られたものです。映画の主人公の初江と新治が寄り添って、未来へと羽ばたくことをイメージし、上部には翼、下部には衣がデザインされています。今後は、神島開発総合センターに展示される予定です。



守ろう！交通ルール！

4月30日、市立安楽島小学校で県交通安全協会のアドバイザーによる、交通安全教室が開かれました。

1～2年生は体育館に設置された仮設信号機を使い、横断歩道の渡りかたなど、実際に体験して交通ルールを学びました。

また、3～4年生は自転車に関する交通ルールの講話を聴き、5～6年生は安全な自転車運転のDVDを鑑賞して交通ルールを学びました。